【事業名】越前市希少な水辺の生き物を守る人づくり連携・協働事業
（福井県越前市）　【団体名】越前市コウノトリが舞う里づくり推進協議会

令和３年度　生物多様性保全推進支援事業
実績報告書別紙10－６

事業の背景・目的

【背景】
- 越前市は国内希少野生生物種アベサンショウウオの分布域最大の生息地。
- トミヨ、ナガレホトケドジョウも生息している。
- 地域住民による熱心な保全調査活動が行われている。
- これまで水田退避溝、休耕田ビオトープなどの自然再生を地域住民と共に展開

【目的】
- 国内希少野生動植物種及び指定される可能性のある希少種の把握と保全。
- 希少種生息地域における希少種群の保全・調査活動の省力化を図るため、環境DNAを活用した保全マニュアルの作成を行う。

事業の内容

ア　国内希少野生動植物等対策事業
〇平成30～令和元年度
・環境DNAを用いて希少種（アベサンショウウオ・トミヨ）の分布を調査するとともに、大学等の研究機関で実施したPCRレベルの定性的調査とリアルタイムPCRを用いた定量的調査を実施した。

〇令和2年度
・これまでに実施した調査結果を地域住民に周知し、環境DNAを用いた手法を地域住民が主体的に取組めるよう保全マニュアルを作成。
・各地域で保全活動リーダーを育成し、主体的に観察会や保全活動を実施し新たな担い手づくりを目指す。

イ　河川・水路の自然環境保全事業
〇平成30～令和元年度
・河川に生息する希少種ナガレホトケドジョウの生息状況を把握するための調査を実施し、生息地の環境を把握した。

〇令和2年度
・生息する場所をピックアップし重点的に生息環境調査を実施するとともに、簡易な保全手法を検証する。また、生息地を管轄する行政機関に情報を共有し、自然環境に配慮した河川・森林整備事業等につなげる。

得られた成果

【成果】
・大学との協働により、地域住民により採水された環境水を用いた環境DNAによるアベサンショウウオの生息状況の調査を行い、環境DNAを活用した保全マニュアルを作成した。

・希少野生生物や生物多様性保全再生への理解が進み地域の環境保全再生活動に取組む新たな住民の参加があった。

・地域住民による継続的な保全活動を実施した結果、アベサンショウウオの生息地が保全され、産卵も確認された。

・獣害対策を施したアベサンショウウオの生息地は獣害被害が確認されず、アベサンショウウオをはじめとする、水生生物の保全に寄与した。

・市内に生息する希少種について地域住民によるモニタリングと環境DNA分析調査を行い、市内に生息する希少種の生息状況を把握することができた。